

●「赤心」継がん

Dream

五代塾

GodaiJuku

Sinbun (新聞)

第5号

発行: Dream 五代塾

吹田市千里山西 5-14-17

発行責任者: 理事長 川口 建



墓参時の集合写真

Dream 五代塾主催として第一回の墓参会を開催しました。晴天のもと凡そ40名の参列の中、敵かであり、且つ、和氣調々の雰囲気で行き、五代さんに喜んでいただけたのではないかと思います。

2021年9月25日(土)
10時30分〜12時

●場所: 大阪市設南霊園
(大阪阿倍野霊園)



五代友厚公顕彰墓参会

主催・Dream 五代塾

五代さんの生涯の行動理念である「赤心」(嘘いつわりのない、ありのままの心。真心)を誓い、川口理事長の挨拶の後、参列者順不同でお参りを済ませました。最後に皆さんで献杯し墓参会を終了いたしました。

お墓の前に立つと五代友厚と同時に、映画『天外者』主役を演じた三浦春馬さんが目に浮かんでくる。五代友厚が現代に生きているがごとく熱演してくれた演技が素晴らしかった。2019年の映画クランクイン前に、この場所に三浦春馬さんも参列されご挨拶されたことを思い出します。今となつては残念でたまりません。準備された座席で私の隣に田中光敏監督、その横に三浦春馬さん、後ろに西川貴教さんと森川葵さん。お墓の平面図で配置概要などを説明したこと、そしてその時の何気ない会話やぬくもりが私の中では当時のまま残っています。

三浦さんが墓前祭に参加され、ご挨拶された時の思いを、三浦春馬『日本製』に書かれています。その一文をあらためて紹介します。
(P387)

【墓前祭で「こいさつをお願いします」と言われた時にも、臆することなく皆さんの前でしっかりと思いを伝えることが出来ました。大したことは言えませんでした。主役として関わってくださる皆様にきちんとご挨拶したいという気持ちが整っていたからだと思いますし、それはやっぱり年を重ねてきたところも大きいのかと思いますね。一方で年齢というはある種、記号的な部分もあるので、年齢にとらわれ過ぎるよりもどんなふうに一年を生きたかが大事だとも思っています。とにかく五代さんを演じた期間はとても充実していたし、三浦春馬という俳優としても、ひとりの男性としてもベストを尽くすことが出来たと胸を張って言える作品になりました。…この三浦さんの言葉は、五代さんの生き方に重なる部分が多いですね。

霊園内ゆかりの墓・他を紹介

墓参会終了後は、Dream 五代塾第二回セミナーとし希望者の方に当霊園内にある「ゆかりの人の墓など」の資料をお渡ししてご案内いたしました。

《萱野家の墓》

以前は奈良県田原本町八尾の生家近くの安養寺にお墓があったが、大正5年に長男の森山茂は、弟の萱野真妹の五代豊子とも相談し、大阪阿倍野斎場の五代さんのお墓に向かつて

左20mの地に改葬した。従い、現在安養寺には萱野家のお墓はない。

尚、豊子の父恒次は儒家として村民のみならず近隣からも多くの人が勉学にいそしみ、扇鳳先生と呼ばれ慕われた。また、金春流シテ方としても著名で、兄茂や豊子も幼時から謡曲に親しんでいた。門弟は200人ともいわれ、恒次が亡くなった後、教え子らが費用を出し合つて「追慕碑」を浄照寺に建立した。大正5年萱野家のお墓を大阪阿倍野斎場に改葬したと同時に当地に移設したが、平成10年に老朽劣化で倒壊の危険があったため残念ながら撤去された。

《森山家の墓》

萱野家恒次の長男茂(五代豊子の兄)は天誅組の乱で菅沼一平と変名し参加した。ところが天誅組は時の幕府に追われる身となり、大阪の国学者森山藤次郎(号は履道軒)のもとに身を寄せ、後に同家の養子となつた。その先祖のお墓は五代さんのお墓に向かつて右50m位の場所にある。



森山家のお墓



萱野家のお墓

茂は元々実力があつたことから維新後は兵庫裁判所(県庁)に出仕。明治2年には外国官書記、その後外務大丞(たいじょう)まで昇進。退官後は元老院議員、富山県知事を歴任し

貴族院議員を約25年間務めた。

茂は当時の兵庫県知事伊藤博文の部下であり、大阪の五代友厚とは近いところで仕事をしていた。結果、茂は妹の萱野豊子を五代に嫁がせた。

尚、森山茂夫妻とその子孫のお墓は東京青山墓地にある。

《土居通夫の墓》

幕末の宇和島藩士。

大阪川口運上所(税関)に勤務し五代友厚の部下となったことが生涯の重要な方向付けとなる。退官までに井上馨、

伊藤博文、大隈重信、大久保利通らとの政界人脉を築くと同時に、住友家、鴻池家ら大阪財



土居家のお墓

界人と関係を深めた。明治17年に実業界に転身し電灯・硝子・保険・新聞・銀行など諸事業に参画。また、鉄道会社の創立に多く関わり、この墓地の前を走る阪堺電気軌道の前身・大阪馬車鉄道や京阪電鉄の社長を始め、多くの事業に関わり功績を残した。近代大阪財界の基盤を固めた五代友厚亡きあとの大阪財界最有力指導者として活躍した。

土居通夫は第7代大阪商工会議所会頭を22年間務め、初代会頭五代友厚像の横に同氏の銅像が並んでいる。

五代友厚の三女芳子は土居の養女となり、後、宇和島藩主伊達宗徳(第9代藩主)の五男を婿養子に迎えて結婚し、土居家を継承している。これから見ても五代友厚と土居通夫の深い関係性が伺える。

《長州藩死節群士之墓》

元治元年(1864)7月の「禁門の変」に敗れ、「千日獄舎」で亡くなった長州藩の志士たち

の奥都城(おくつき)です。明治維新後に名譽が回復され、勤皇の殉難志士として御霊は靖國神社に祀られている。

禁門の変で敗れた長州藩士らは賊軍として幕府から不当な扱いを受け敗走途中、大坂の桜の宮で高松藩兵に捕まり、多くが大坂の千日前にあった「千日

獄舎」で獄死した。その死体は「千日刑場」

の横にあつた骨捨て場に埋められたが、明治維新後名譽回復されて掘り起こされ阿倍野墓地に移された。



長州藩死節群士之墓

この経緯は、明治政府は大阪の開発と発展を意図して千日刑場を廃止し、「千日墓地」を「阿倍野墓地」に移葬した。その時千日墓地にあつたものの多くが、阿倍野墓地に移された。尚、跡地は区画整理して歓楽街を作り、それが今の難波・千日前界限です。(川口 建)

「北海道官有物諸事業」は 五代友厚没直後、 渋沢・岩崎・安田・大倉 らに払い下げられた：

Dream 五代塾顧問 曾野豪夫

北海道開拓使(庁)は明治三年設立され、十四年いわゆる「開拓使官有物払い下げ事件」として五代友厚が濡れ衣を着せられた。しかし五代は政

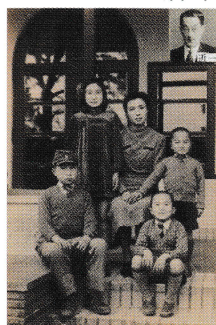


筆者：曾野豪夫氏

府要人からの依頼を受けて沈黙を守り、十八年満四十九歳で急逝した。この間の事情を詳述して一四〇年ぶりに五代の濡れ衣を具体的に晴らして下さった八木孝昌先生の『新・五代友厚伝』(マエダ 研究所二〇二〇年)第八章を、一読頂きたい。また本件については本紙第二、五号にも簡潔に記載がなされている。

五代が十四年大阪で設立した「関西貿易社」は日本人の手により直(じき)貿易を行う目的で設立された会社であり、長崎出身で大阪で金融業と清・朝鮮貿易を行っていた私の母方曾祖父永見米吉郎も共同出資者の一人だった。

米吉郎の長男永見省一(私の外祖父)は、五代友厚の娘武子・藍子姉妹と従姉妹関係にある宮地綾(私の外祖母)と結婚した。綾の父宮地長夫は元姫路藩士で五代の弘成館幹部、播磨大立銀山の鉱長だった。



筆者(左)の戦後唯一の家族写真。神戸の自宅のポーチにて 昭和21年(1946)4月起インフレになる直前

また省一(明治十年三月生れ)と藍子(九年生れ)は共に愛日小学校を卒業した幼友達だった。綾が大正末年に病死したので、昭和四年省一は後妻として五代豊子の姪である萱野晴(はる)と再婚した(私の母の娘時代)。

私は敗戦翌昭和二十一年灘中に入学した。母は私が中三の頃から結核になって御影甲南病院で入院生活を送り、私が高校を卒業した翌年一月に亡くなった。その間、我が家は妹と二人の弟の子供四人家庭だった(父は海軍軍属として戦死)。晴義祖母にはこの間しばしば我が家に泊まり込んでおさんどんをしてもらった。

預金封鎖と超インフレ(物価が四年間で一〇〇倍に)のため没落して小さな家に移り住み、冬は六畳一間に練炭こたつを真ん中において晴祖母と五人で足を突っ込んで友厚豊子伯父伯母の話を聞かず語りに聞きながら寝たのであつた。そのような背景から、私は青年時代から開拓使事件については関心をもっていた。

晴祖母の父真(しん)は、五代豊子の弟である。適塾を経て明治四年東京の共立学校(現開成中学高校)に入学、大学予備門(その後一高を経て大蔵省に勤務し、主計局次長で明治三十二年に退官し京都の村井煙草兄弟会社の役員となった。

晴祖母「父真は非常に厳しい人だった。幼い息子の楨(みき)のち日本鋼管勤務)の英語の勉強がおろそかになると井戸端で冷水を浴びせて叱咤した。妹の自分もついでに訳の分からぬままに水をかけられた」とキセル煙草を吸いながら話をしてくれた。そして「自分は子供2人の頃から喫煙をしていた。父に見つかると折檻が大変だった。歳に放り込まれて「ポン」とキセルを火鉢の縁(へり)に叩く音が耳朶から離れない。祖母「京都府立第一女学校に入学できず第二に入学した。翌年父の命で再度第一を受験したがダメ。更に翌年もダメ。父はあわてて第二の校長に入学を頼み込んだ、ほつぽつ、ポン、きざみ煙草のほのかな香りが懐かしい。私は一度も喫煙をしたことはないが。明治以来我が家にあつた焼き物の火鉢三ヶは、四年前に西宮から東京のマンションに最後の移転の時に廃棄処分した。



筆者の外祖父永見省一と再婚した外祖母晴(萱野)が血の繋がっていない初曾孫である筆者の息子にあうために大阪から東京に来てくれた(1968年)

で五代が悪徳政商の如く書かれ、また教科書にも転用されていることに私は長年不満を抱いていた。『五代友厚伝記資料』(昭和四十六、四十九年刊)も購入して一応関係部分に目を通した。平成二十九年(二〇一七)文科省教科書パブリックでは五代友厚が官有物払い下げを受けておらず、実際に超破格条件で払い下げを受けたのは、東京の財閥諸氏であるので教科書の訂正が必要なる旨愚見を送り、『日本史 現代からの歴史』65頁注を教科書から削除するように、とのコメントを送った。

パブリック応募は確か五年毎に二月十四日発表、締切り三月十五日、そして確定内容の発表は同月三十一日なので大幅な修正はなし得ない。役所のジェスチャーといえるだろう。但し、この年はある国会議員が国会委員会で「教科書の聖徳太子を括弧扱いにするのは歴史に対する冒瀆である」というような発言をしたのでマスコミで大きな話題となった。この報道に世論が反応し、教科書の「聖徳太子」記述は蘇生したものと記憶する。しかし、いずれ誰も気がつかないうちに「聖徳太子(厩戸皇子)」↓「厩戸皇子(聖徳太子)」↓「厩戸皇子」と書き換えられる運命にあるのだろう。国会議員も若い人も常日頃から子供や孫の歴史教科書の各項目を精読し、文科省や教科書会社対策を考えて頂きたい。微修正は毎年行われている。話がそれた。

平成二十二年(二〇一〇)、私は新聞記事で住友資料館副館長末岡昭啓氏が『開拓使官有物払い下げ事件』再考」という論考を発表したとの記事(切抜き紛失)をみて早速一部送付して貰った。

一〇年以上前の Wikipedia「北海道開拓使官有物払い下げ事件」の記載事項は「払下げ決定まで」「払下げへの批判と事件の收拾」「北海道庁官有物払い下げ事件」だった。しかしその後三番目に「新しい資料発見」として末岡氏の論考の結論が五行だけ挿入されたが、全項目に

重大な誤記が多々あるのに一向に修正がなされていない。

この Wikipedia の中の「新しい資料の発見」と「北海道庁官有物払い下げ事件」の全文を転記する。前者は誤りの一部のみを注記した。後者については個々の出典などは調べていない。

新しい資料の発見

近年、住友資料館において、関西貿易商会(會野注：商会↓社)の経営者の一人である五代友厚の当時の弁明書が見つかった。そこには、実際の官有物払い下げ先のそのほとんどは、開拓使官吏で結成する北海道であり、関西貿易商会(注：同)においては、岩内成鉱と厚岸の山林の二件だけであると記されている。そして、この事実に関しては、政府要人からの要請により、公(注：五代)には弁明することを断念したという旨の記述も見つかっている。

北海道庁官有物払い下げ事件

一八八六年(明治一九年)、北海道庁初代長官の岩村通俊は黒田の殖産興業政策を就任演説で批判し、民営化を主張した。ほどなく東京から渋沢栄一、岩崎弥太郎、益田孝、安田善次郎、大倉喜八郎ら財界人を札幌へ招き、北海道の開発について協議した。夏には山縣有朋、井上馨ら大物政治家が、益田、大倉、小室信夫、馬越恭平を伴って北海道へやってきた。そうして暮れには、開拓使時代からの官営工場である札幌麦酒醸造所が大倉へ払い下げられた。

翌一八八七年(明治二〇年)、渋沢が出資者に加わり、これは札幌ビールと社名を変えた。他には、資本金二十六万円の紋別精

糖所が九九五円で伊達邦成に払い下げられている。

一八八九年(明治二十二年)、北海道炭礦鉄道の前身事業が、法人としての設立を隠れ蓑に払い下げられた。

前身の官営事業は資本金二二〇万円であった。驚嘆すべき払い下げ条件は三十五万円、割賦一〇年、さらに八年は株主に年五%の配当保証。加えて線路とそれに付随する土地は税金が免除され、千人以上の囚人が労働力として毎年派遣されるというおまけがついた。合衆国の鉄道事業を真似たような厚待遇であった。設立にあたっては、三条実美をとおして皇室を大株主に据えた。福沢諭吉からも了承を得たうえで有力財界人や華族らが発起人となった。この年、北海道の二〇〇万町歩が皇室財産となり、雨竜原野の一億五千万坪が三条や蜂須賀茂韶らの華族組合に貸し下げられた。一八九七年(明治三〇年)、開墾地無償付与の制度が実施されると、官僚・華族・資本家らの荘園が道内に蔓延した。(脚注は省略)

一四〇年前、大阪の五代は北海道開拓使の官有物の払い下げを受けておらず、五代没後すぐに東京の財界人が山分けしてしまったことを多くの五代研究家、学者も小説家も筆にしてこなかったことに私は大いに疑問を(憤りを)覚えた。つづき米寿を迎えたのである。五代に繋がる多くの人々も同じ気持ちで旅立ってしまった。晴祖母は明治時代に大蔵省に勤務した父親からこのような話を聞いていて、戦後孫の私に話していたのだろうか…?

近年は五代の汚名を雪ぐ立派な研究資料や書籍が幾つか世の中に出てきたことをいづれあの世で皆さんに報告して共に喜びたい。

Dream 五代塾セミナー

第3回セミナー

五代友厚ゆかりの地探索①

案内人：川口建

日時：2021年10月16日(土)10時~13時
場所：西区木津・安治川周辺辺り

「土佐稻荷神社」↓岩崎家舊邸(きゆうてい)跡↓松島橋(旧松島遊廓地(見学無し))↓大涉橋↓川口運上所・大阪港開港地跡↓富島天主堂跡↓川口居留地跡↓川口基督教教会↓大坂船手会所跡碑↓雑喉場魚市場跡碑↓大阪市役所江之子島庁舎跡↓大阪府庁江之子島庁舎跡↓薩摩堀川跡(薩摩藩蔵屋敷跡下屋敷・碑無し)↓大阪商業講習所跡」

晴天の中、総勢14名で西長堀駅集合し、説明資料をもとに15ヶ所の探索をスタートした。最初は土佐稻荷神社・岩崎家旧邸を選んだ。五代は慶応4年(1868)徴士参与職外国事務掛として大阪に赴任し、いきなり新政府の命運が左右する三大渉外事件(神戸事件・堺事件・英国公使パークス襲撃事件)が起きた。外交交渉に長けた五代は全てに関与し大過なく収めた事件で、その一つ堺事件に関連する場所である。詳細は省略するが土佐藩士の責任は免れず切腹者20名がこの神社で籤引きで決定された。

次に木津川・



外国人居留地を中心に、右に大阪府庁江之子島庁舎、左に川口運上・大阪港
大阪パノラマ地図復刻版(大正15年)の一部分

安治川の中洲に位置する松島遊郭・川口運上所(大阪税関)・大阪開港地の碑を確認、さらには外国人居留地を探索した。その間五代は、外国事務局判事、外国官権判事、大阪府権判事、大阪府判事へと職務範囲・権限が大きくなり、大阪の都市機能が整備されるまでの実質的な大阪の運営を任された。外国から調達した「蒸気」を使った川堀道具や大勢の工夫を投入し港の良港への改造、初代税関長として毅然とした人物の水際対応、外国人住居環境の整備等に自ら奔走し、新しい時代の受け入れに尽力した。

先の見学地の木津川の向いには二代目大阪庁江之子島庁舎跡碑(明治7年)や時代は少しあとになるが明治32年初代大阪府役所江之子島庁舎跡碑を探索した。尚、明治期の大坂の政治や貿易の中心地は今見学地の木津川・宇治川界隈であった。その後大正時代に入って政治や経済の中心が土佐堀川・堂島川周辺に移り大阪府庁や市役所が夫々現在地に新築されて今日に至っている。

薩摩堀川跡、薩摩藩蔵屋敷跡(下屋敷)を探索。薩摩藩蔵屋敷は土佐堀川方面に上屋敷、中屋敷があるが、この下屋敷は江戸時代初期から地元の特産品や乾物・雑貨品を取り扱っていた。現在は公園(堀川公園、島津公園)になっているが、名の通り当時は堀川が存在したが現在埋め立てられている。

最後は大坂商業講習所跡。明治13年(1880)11月に五代友厚が中心となり創設・開所した。現在の大阪市大へと引き継がれている。



大坂商業講習所跡碑の前で集合写真

Dream 五代塾セミナー

第4回セミナー

真説 五代友厚講談と講演

(1) 講談：旭堂南照

演目 ①「大阪の恩人」 ②「薩摩藩英国留学」 ③「開拓使官有物払下げ事件」

(2) 講演：八木孝昌「五代の濡れ衣」

日時：2021年11月13日(土)

13時30分～16時30分

場所：BUNROCK 文禄堤薩摩英国館

演者含め38名で開催。旧京街道守口宿の古民家を改造した2階の会場。講談に臨場感が深まり、幕末・明治初期にタイムスリッ



セミナー風景写真

プした感じであった。今日の講談演目は、『新・五代友厚伝』の著者八木孝昌氏が、旭堂南照さんに「講談 真説五代友厚伝」全18話をつくられ、今回その中の3話を口演して頂きました。

「講談師見てきたような嘘をつき」とよくいわれますが、今回の演目に限っては「講談師真説を語り歴史を正す」の内容であり、わかりやすく臨場感のある口演は五代の生涯や志が手に取るように理解でき、講談で五代を勉強するのにも一つのツールとして大いに意味があると感じました。旭堂南照さんには残り15話もぜひ語っていただきたいと願います。八木先生の講演は、多くの書籍や高校の教科書が誤った記述で長らく五代を悪徳商人の如く報じてきたが、ご新著「新・五代友厚伝」で従来の誤りを明確に正された旨説明がありました。同著発行は大変有意義なこと一同認識しました。

Dream 五代塾顧問 八木孝昌

「五代友厚官有物払い下げ説見直しを求める会」発足

十一月三日、大阪市立大学講堂において「五代友厚官有物払い下げ説見直しを求める会」が発足しました。会の代表には大阪市大同窓会五代委員会見玉隆夫委員長が就き、荒川哲男大阪市大学長を初めとする四六人の発起人が名を連ねました。

会は即日、来年三月に文部科学省へ提出する予定の「高校日本史教科書の五代についての誤記述の修正を各教科書会社に指導されること」を要望する文書への賛同署名活動を開始しました。

会は目的達成のために、教科書会社との話し合いを申し入れようとしています。話し合いが実現する場合は、国立公文書館所蔵の「開拓使官有物払下許可及び取り消しの件(明治14年)」の政府史料を示して、政府が決定した官有物払い下げ先が五代友厚の関西貿易社ではなく、開拓使上級官吏四人が退職して設立する民間会社北海社であったことを説明することにしています。(この政府史料はインターネット検索で閲覧することが出来ます。)そして、教科書会社は文部科学省からの教科書検定意見によってではなく、会社として自主的に該当記述の書き換えを行うよう要望いたします。

また、大阪市立大学と同大同窓会では、五

五代友厚像
大阪市大・杉本キャンパス

編集後記

新型コロナが沈静化の兆しが見え、今年もあと1ヶ月となりました。今年はDream 五代塾発足初年度に当たり難しい運営となりましたが、セミナー4回と新聞の発行は本5号を含め5回の発刊が出来ました。会員の皆様のご支援の賜物として大変感謝しております。

今年は、映画「天外者」主演三浦春馬の成功があり、12月11日には公開1周年として1日限定の全国296館特別上映が決定しました。大スクリーンに熱演三浦春馬さんが戻ってきます。また、NHK 大河ドラマ「青天に衝け」では「東の渋沢、西の五代」として五代役のディーン・フジオカさんが冷静で的確な判断をする五代を見事に演じられています。一方で大阪市大とそのOBを中心に「北海道開拓使官有物払下げ事件」の五代の濡れ衣を晴らす活動を開始されました。これらの動きは五代友厚公に恩返しができるチャンスでもあります。私達も積極的に協力していきたいと思っております。是非ご協力をお願い致します。

今年最後の挨拶となりますが、来年もDream 五代塾へのご支援・参画よろしくお願い致します(川口建)

代の濡れ衣を晴らすためのシンポジウムを来年一月二十二日に大阪市立大学田中記念館ホールにおいて開催します。会は大河ドラマ「青天に衝け」などで五代への関心が高まっている現在をチャンスととらえて、五代についての事実誤認を正すべく、積極的な活動を進めます。Dream 五代塾会員各位におかれても、署名へのご協力等、ご支援をお願いいたします。

2022年度会員募集中【年会費2,000円】

詳細はDream 五代塾HP <https://www.dream-godai.com>

連絡先：川口建 携帯：080-4497-5688 Email: gogoken12345@gmail.com